



千葉の 教育を考える つどい

—「教科書」・「道徳」・「18歳選挙権」—

発言

- 異常な県立中学の教科書採択
- 高校の歴史教育への介入
- 18歳選挙権と教育
- 「私たちの道徳」への疑問と「道徳の教科化」
- 意見交流

昨年、国民の声を無視して憲法違反の安全保障関連法が強行可決される中、千葉県では、県教育委員会が、県立中学校で使用する教科書として、侵略戦争を正当化する等問題の多い育鵬社版の歴史教科書・公民教科書を、非公開で議事録も作成せずに採択しました。また、県立高校では、実教版歴史教科書採択への県教委からの妨害が続いています。更に「道徳の教科化」が決まり、小学校では2018年、中学校でも2019年に実施される予定で、ますます国家の教育への介入が進みそうです。

今、千葉県の教育現場には、どのような動きが押し寄せているのでしょうか。各現場からの発言を受けて、千葉県の今後の教育を語り合いたいと思います。どうぞご参加ください。

3月19日(土)

14:00 ~ 16:30

千葉市生涯学習センター3階 大研修室

資料代 500円



共催団体

千葉の子どもを幸せにする教育タウンミーティング実行委員会、子どもと教科書千葉ネット21、教科書と教育を考える千葉県民の会、千葉県高等学校教職員組合千葉北・南支部、ちば・戦争体験を伝える会、市民の千葉をつくる会

連絡先 080-5017-1584 (市川)

*17時より千葉駅頭で、千葉県の教育の現状を訴え、戦争法の廃止を求める街頭宣伝行動を行います。